

第15回地方独立行政法人鳥取県産業技術センター評価委員会議事録概要

対応の()内は回答者

会議の名称：第15回地方独立行政法人鳥取県産業技術センター評価委員会

開催の日時：平成23年6月2日 午後3時半～5時半

開催の場所：鳥取県庁 特別会議室

出席者氏名：別紙出席者名簿のとおり

会議の概要：以下のとおり

1. 業務実績評価（第1期中期目標期間）方針及び方法について

決定事項

事務局で具体的な案（総合点は過去のものを平均で出して、文章をその中に盛り込んで、その項目ごとの内訳みたいなものを参考資料として、なるべく1枚で基本的には完結する形）を作成し、再度相談する。

委員	主な意見	対応
和木委員	<ul style="list-style-type: none"> 参考資料2（科学技術振興機構）の方は、ぱっと見たときにわかりやすい。目標に対してプラスアルファのアクションも追加で書かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> この法人のものは自己評価、経年変化も見えるし、それに対して総合評定があり、項目ごとに課題が掲げられており確かに非常に見やすい。（事務局）
辻委員	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、産業技術センターの自己評価と最終的な評価を作っているが、それをまとめた4年間の総合得点は、点数自体は自動的に平均で出してはどうか。 また、文章で出す評価では、例えば4年間のうちここまでできたのはよかったが、この先こっちを目指したらよいという様に文章で書いたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局案もその様なアイデアである。すでに出ている4年間の数値を5段階評価で落とすということ。それに対して、次期に向かってのアドバイス、課題なりを見つけていただくということによいと思う。（事務局）
房安委員	<ul style="list-style-type: none"> 評価が交付金にも影響していくとのことだが、それ以外に何か、各企業の事業所で起きる色々な問題に対して、指導的な感じで、評価した結果をこういう方向で持って行ったらどうかとか、そういうことにつながるということもあるのか。 ものづくり屋というのは常に試行錯誤の連続であり、零細企業はなかなか思うようにいかないと言うことが多いため、何か生かせたらという気持ちである。 	<ul style="list-style-type: none"> もちろんある。まさに1期目のポイントもそこだった。 たとえば、技術指導と研究開発とのバランスをどうとるのかという話もあり、その辺、各評価委員の意見も頂きながら進めている。その意味で今回地元の地場産業としての声をぜひ出していただければと思う。（事務局）
		<ul style="list-style-type: none"> 以上の意見を踏まえて、事務局で具体的な案を作る。 たとえば、総合点は過去のものを平均で出して、文章をその中に盛り込んで、その項目ごとの内訳みたいなもの（科学技術振興機構が作っているようなもの）を参考資料として、なるべく1枚で基本的には完結する形にさせていただきます。

		・また実施の段階では相談させていただく。(事務局)
--	--	---------------------------

2. 剰余金(第1期中期目標期間分)の次期中期目標期間への繰越しに係る基準の作成について
決定事項

中期目標期間の全体評価を剰余金の次期中期目標期間への繰越しに反映させる。

委員	主な意見	対応
和木委員	・今度は次の2期中期計画、4年間に使うという目的積立金なので、うまく理解できるように目的積立金を積んでもらい、何年もやっていく中で、余り埋蔵金にならないよう健全にしておいてというアクションしかないのではないか。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・議会筋としては、前期の剰余金を次期に引き継ぐかどうかのところで議論はあるかもしれない。 ・評価委員の意見としては、1期分の積立金を次期に繰り越しても妥当だという評価をいただいているということは言わせていただきたい。 ・全体評価を剰余金の次期計画に繰り越すという所に反映させるような形で評価いただいた方が、この評価、数値の意味があるということになると思う。 ・したがって、全体計画の評価数値も次期の剰余金に反映させるということにさせていただきたい。(事務局)

3. 役員給与規定の変更について

決定事項

役員給与規定の変更について了解

委員	主な意見	対応
谷口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の理事長はある種のヘッドハンティング。これはなかなか難しい。 ・鳥取県の産業振興、あるいはある種のストラテジーを満足するような、キーになるようなリーダーを引っ張ってくるということになったら、この値段では無理。 ・今の理事長の給料を上げるとか下げるということではなく、ワールドワイドに見て、いいリーダーを引っ張ってこようと思ったらこの価格では動いてくれない。ましてや、我々企業の技術センターのトップである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドハンティングという点では、やはり少し幅がないといけないと思っている。 ・ある程度の幅を前回まで持たせていたが、今回はこういう形で部長職、次長職に相当するということにさせてもらい、今回、村江理事長のもとで1期やってみて、またいろいろと御意見をいただけたらと思う。 ・今回地元の企業に対しての支援を強化していくということも、今回の知事の理事長任命に、そこに意図があらわれていると思う。 ・まずはこの役員規程で2期目は進めさせていただきたいと思っている。 ・そういう御意見があったことは、しっ

		かり上に伝える。(事務局)
--	--	---------------

4. その他

(1) 次回センターヒアリング時の企業訪問実施について

決定事項

企業訪問を行い、センターで意見交換できるものがあれば行う

委員	主な意見	対応
和木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと現場に行っていただきたい。皆さんのアンケート結果と恐らく違う。私も行かせていただいて、いろんな手厳しいご意見もあったり、あるいは仕方なしに、ないよりはあった方がいいだろうという雰囲気では、センターの方達のモチベーションが上がらないと思う。 ・もっと一心一体になって歩み寄りという表現、少し語弊があるかもしれないが、上から目線ではなくて本当に一緒になってやろう、あるいは結果を出そう、出た結果はこういうふうにお互いに外にもアピールしようという、企業側とセンター側がこつこつとやっていけば、必ずほっておいても声かかるようになってくるのではないかと思う。 ぜひとも、もっと多くの、相手が受け入れていただけるのであれば、短時間でも数多く行ければありがたいかなという感じ。 	
谷口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私どもも同じく地元の企業の一員として、和木さんのお話に大賛成。 	

<p>辻委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 例えば、センター内部で行われている技術報告会や研究報告会などで、どんな研究者がどんなふうに取り組んでいるかなどが実態として見られるようなチャンスがあるといいと思う。 • センターで委託している委員会の評価を受けて自己評価をしている、そういう評価の仕方自体が正しく行われているかどうかを評価するというのが、この評価委員会としての目的であれば、例えば、その委員の方にお話を聞くということもあると思う。 • 責任ある評価委員会としての役割を果たそうとすると、報告書だけでなく実態に迫っていききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • センター独自の研究評価の委員会を持っており、研究の進捗度とか、成果に対する考え方とか、いろいろな評価をいただいて、その評価委員会の報告に基づいて、私どもの調査研究、委託研究も含めて評価していただいているが、その上に屋上屋をかけるようなことになるといかがなものか。 ただ、普及啓発的な成果発表会の様なものについては今後、より機会を持って各委員の方々に御案内はしていこうと思う。(産技センター) • 研究評価の委員メンバーにはそれなりの立場の方、バランスをとって、いわゆる自立機能を持って評価をするシステムをつくっているの、その評価システムがいいか悪いかということについて一番御意見をいただけたらと思う。(産技センター)
<p>和木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 2期目の研究評価委員のメンバー選定なり運営に対して説明いただければありがたい。 	
<p>副井委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> • やった方がいいとは思いますが時間との関係になる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> • 次の委員会の企業回りの際、産技センターで意見交換ができるようなものがあればセットしたい。企業訪問は事務局で案を出させていただく。(事務局)

(2) その他意見

委員	主な意見	対応
<p>谷口委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 知事が1万人雇用の場をつくるという非常にデジタルな目標が出ていることに対して、第1年度の産業技術センターとしてもこれに答えたような計画の中身を構成していただくことがいいのではないかと思います。少なくとも雇用を100人なら100人を将来つくるための種をつくるのだということと合体させていくことの方が抽象的な目標よりはいいのではないかと思います。 そういうふうにしていただくと本当に成果も上がるだろうし、評価ということも非常にイージーになるだろうと思うし、評価することが目的ではなくて、結果を残すことが目的なのであるから、我々の統括する最高責任者がこういうふうにするよと言ってく 	

	<p>ださっていることに対して、全く目標に対する反応を示すことなく、黙々と過去のスケジュールの繰り返しをやっていたということについては、少し我々の使命として外れているのではないかなと思う。</p>	
<p>谷口委員</p>	<p>・実績の数字の3分の1ぐらい、あるいは半分ぐらいを目標にして、前年度と同じ、あるいはアベレージと同じぐらいになれば合意になるようなことにならないように。</p> <p>昨年と同じようにやっても、自動的にこのインセンティブの絡みでこういうふうにはやらざるを得ないのだと、目標を低くするのだということは絶対やめていただくように。</p>	

第15回地方独立行政法人鳥取県産業技術センター評価委員会 出席者名簿

【委員】

区分	氏名	所属名	役職名
委員長	副井 裕	国立大学法人鳥取大学	学長顧問
委員	谷口 義晴	日本セラミック株式会社	代表取締役社長
委員	辻 智子	日本水産株式会社	生活機能科学研究所長
委員	房安 寿美枝	いなば和紙協業組合	総務部部长
委員	和木 幸雄	三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社	監査役

【地方独立行政法人】

氏名	役職名
村江 清志	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター理事長
向井 保	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター理事
山本 誠	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター企画管理部長
山田 強	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター企画管理部企画室長
石破 徹	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター企画管理部企画室長補佐
蔵内 康夫	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター企画管理部総務室長補佐

【事務局（鳥取県）】

氏名	役職名
岡村 整諮	商工労働部産業振興総室長
山下 喜夫	商工労働部産業振興総室産学金官連携室長
富山 哲明	商工労働部産業振興総室産学金官連携室副主幹